

平成 28 年 7 月 28 日

水管理・国土保全局下水道部

平成 28 年度 B-DASH プロジェクトの実施事業を決定（第 2 弾）

～ドローンによる老朽下水管きよの点検・調査技術など 3 技術を実証します～

国土交通省は、平成 28 年 7 月 19 日に平成 28 年度 B-DASH プロジェクトの第 2 弾として、①下水管きよの腐食点検・調査技術及び、②中小規模処理場を対象とした下水汚泥の高濃度メタン発酵技術について 3 件の事業を決定しました。今後、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認（予備調査）を実施します。

1. B-DASH プロジェクト

国土交通省では、新技術の研究開発及び実用化を加速することにより、下水道事業における低炭素・循環型社会の構築やライフサイクルコスト縮減、老朽化対策等を実現するため、平成 23 年度より下水道革新的技術実証事業（B-DASH プロジェクト※）を実施しております。本プロジェクトは、革新的技術の全国展開を図るため、実規模レベルの施設を設置し技術的な検証を行うものであり、平成 28 年度からは、実規模レベルの前段階として、導入効果などを含めた普及可能性の検討や技術性能の確認を行う、「予備調査」を実施しています。

※ B-DASH プロジェクト：Breakthrough by Dynamic Approach in Sewage High Technology Project

2. 平成 28 年度選定事業（第 2 弾）

この度、学識経験者からなる「下水道革新的技術実証事業評価委員会」による厳正な採択審査を行い、以下のとおり平成 28 年度の実施事業を決定しました。今回決定した事業は、全て実規模実証の前段階である予備調査として実施します。

① 下水管きよの腐食点検・調査技術

1. 下水圧送管路における硫化水素腐食箇所の効率的な調査・診断技術

実施者：(株)クボタ

事業概要：点検調査が困難な圧送管路を対象に、硫化水素による腐食箇所の絞り込み、及び腐食の有無を診断する技術について、当該技術の性能及び導入可能性を確認

2. 中大口径管路等を対象とした無人小型飛行体によるスクリーニング調査技術の実用化に関する調査事業

実施者：(株)日水コン、ブルーイノベーション(株)、横浜国立大学、横浜市 共同研究体

事業概要：調査困難路線である中大口径幹線に対し、無人小型飛行体（ドローン）を用いて効率的かつ安全に調査する技術について、横浜市内の実フィールド及び横浜国立大学の室内実験施設を用いて、技術の性能を確認

② 中小規模処理場を対象とした下水汚泥の高濃度メタン発酵技術

3. **中小規模処理場を対象とした高濃度メタン発酵技術に関する予備調査**

実施者：(株) 西原環境、(株) 大原鉄工所、北海道大学、浜中町 共同研究体

事業概要：既存の脱水機を濃縮機としても活用する事により汚泥を 10%程度に濃縮し、ユニット化されたコンパクトな横型消化槽で高濃度消化する技術について、北海道浜中町の処理場をフィールドとし、その性能を確認

なお、平成28年度B-DASH実施事業（第1弾）の結果については、以下のURLで公表しています。

http://www.mlit.go.jp/report/press/mizukokudo13_hh_000297.html

<問い合わせ先>

国土交通省水管理・国土保全局 下水道部 下水道企画課

課長補佐 安田将広 環境技術係長 中島智彦

TEL 03-5253-8111（内線 34-172、34-134） 03-5253-8427（直通）

FAX 03-5253-1596